Key Person

㈱おおきなわ　代表取締役

川上 修一

一般的な調剤薬局やドラッグストアとは異なり、
漢方を中心とした薬の提供や、ファスティング（断食）指導など、
体質改善を目指した健康指導に力を入れている『れいわ堂薬舗』。
運営会社『おおきなわ』の川上社長は長年、製薬会社や大学病院で薬の臨床試験に携わり、
培ってきた知識や経験をもとに、患者に親身なアドバイスを行っている。
「私が培ってきたものを最大限に活かし、人々の健康を支えたい」――
強い信念と情熱で、自身にしかできない仕事を続けていく社長は、
地域の人々にとって欠かせない存在となりつつある。

熱

「一薬剤師として力を尽くし、地域の方々の健やかな日常を支えたい」

© 2020 KOKUSAI-TSUSHINSHA Co.,Ltd.

プロの目線で健康指導を行い 薬に頼りすぎない 健康的な毎日を応援する

『おおきなわ』が運営する『れいわ堂薬舗』は、薬に頼りすぎることなく、人々の健康的な身体づくりを支えたいとの想いからスタートした薬店だ。一般的な調剤薬局やドラッグストアとは異なり、丁寧な健康相談の上、一人ひとりに合った漢方薬の提案やファスティング（断食）指導などを行っている。本日はダンカン氏が同店を訪問。長年、医薬品の臨床試験の分野で活躍してきた薬のスペシャリストである川上社長にインタビューを行った。

臨床試験に長年携わり 知識を活かして独立を果たす

――川上社長が薬剤師を目指されたきっかけから伺います。

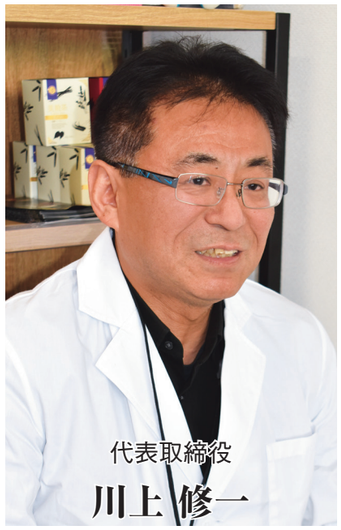
医師である父の背中を見て育ち、私も自然と医療の分野に興味を持つようになりました。ただ、同じ医師の道に進むのには迷いがあった時に、周囲から「薬学も面白い」「薬剤師なら病院で働く以外にも色んな道がある」と聞いて、薬剤師を目指すようになりました。そして『城西大学』薬学部を経て、大学院でも学んだ後は、外資系や内資系の製薬会社や大学病院などに勤め、退職する50歳ごろまでずっと臨床試験の仕事に携わってきました。

――それほどやりがいのあるお仕事だったのですね。

そうですね。一つの薬を世に送り出すには、有効性と安全性など様々な厳しい基準をクリアしなければいけません。そのため大変なことも多いですが、開発した薬が皆さんのお役に立つ――そうした点が一番のやりがいでしたね。

――社会的意義の大きなお仕事ですね。独立には何かきっかけがあったのでしょうか。

臨床試験に携わっていると、たとえば「A」の薬は100人中60人に効果があったけれど、「B」の薬では100人中70人に効いたといったことがあります。それでは「B」の薬のほうが優れているかというと、一概にそうとは言いきれません。何故かと言うと、服用する方一人ひとりによって効果も副作用も微妙に違うからです。いくら画期的な薬であっても臨床試験で出せるのは統計的な数字であって、個人レベルで考えると全く違う話になる。しかし企業である以上は、利益を出す必要があり、どうしてもビジネス寄りになってしまう。私としてはもっと患者さん一人ひとりに寄り添い、親身に相談に乗って本当にその方に最適な薬の提供や健康指導を行いたい――そうした想いから、独立起業して、2020年2月に『れいわ堂薬舗』をスタートしました。



薬よりも大切な生活習慣を変える

川上社長が体調不良で生活習慣病の薬を服薬していた50歳の時に出会い、その素晴らしさを痛感したファスティング。自身の経験から「ファスティングを多くの方に伝えたい」「誰もが健康に過ごせる社会にしたい」と数年前からセミナーを開いてきた。その中で、「薬の正しい使い方と、薬よりも大切な生活習慣のことを伝えたい」と感じたことも、起業に至った理由の一つだったという。

それほど有効で、ヨーロッパではメスのいらない手術とも呼ばれるファスティングだが、自分の判断で勝手に行うのは危険があると、社長は警鐘を鳴らす。そうした中、『れいわ堂薬舗』では、まず希望者には遺伝子分析を行ってその人の体質を調べた上で、食事の取り方や運動量、ストレスなど日常生活で注意するべきことをカウンセリングする。そして酵素ドリンクで栄養を補いつつファスティングを行い、内臓を休めて機能改善や免疫力向上、体質改善を目指していく。薬のプロによる適切なサポートのもと、安全面に最大限配慮して行われるファスティング。興味がある方は一度、同店に相談してみてはいかがだろうか。

患者一人ひとりに寄り添い 健康的な毎日を支える

――こちらの薬店には、社長のそうした想いが詰まっているのですね。

そうなんです。特に当店が目指しているのは、「昔の薬屋さん」のような存在で、一般的な調剤薬局やドラッグストアとは違い、健康相談・指導に力を入れています。薬も生薬などを配合した漢方薬を中心に扱っていますが、一般用医薬品は本当に必要な方のみに提供しています。また、私自身40代の時に生活習慣病である高血圧と高脂血症を発症し、50歳の時には毎日6種類の薬を飲んでいたんです。その時に出会ったのが、ファスティング（断食）で、それにより体調が改善して今では薬を一切飲んでいません。その良さを伝えたいとの考えから、当店ではファスティング指導も行っています。

――薬のプロの正しい知識と実体験による指導なら、心強いですね。お仕事ではどんなことを大切にしておられますか。

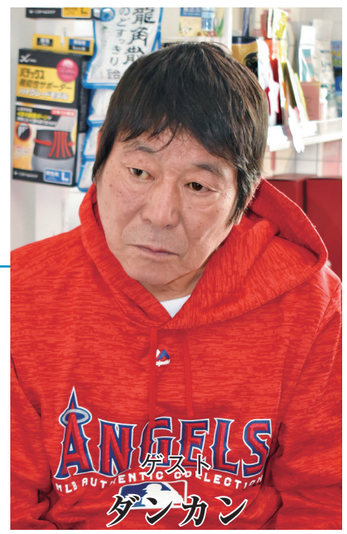
たとえば、患者さんが「こういう症状だから薬がほしい」と言って来店された場合、まずその方が普段の生活でどういう悩みを抱えていて、どういった薬を飲んできたかなどを細かく聞き、アドバイスすることを大切にしています。薬を提案する場合は、副作用があったり、飲み続けていると効きにくくなってきたりすることもありますから、効能だけではなく、デメリットや危険性もきちんとお話しするようにしています。

――私たち素人は、つい効能だけを見て市販薬を買ってしまいがちですが、実は薬は思っている以上に危ないものだと聞いたことがあります。

ダンカンさんのおっしゃる通りで、良い点も悪い点もあるのが薬なのです。それに現代は情報過多と言いますか、テレビやインターネットが普及してあらゆる情報が簡単に手に入るため、情報に踊らされてしまうことが多いのです。これはやはりコミュニケーション不足が原因と言えるでしょう。もちろん情報は必要ですが、医療機関と患者さんの間に、私共の薬局、薬店が入って、しっかりとコミュニケーションを取りながら病気に負けない身体づくりをお手伝いしていきたい。そして、少しでも地域の皆様のお役に立てれば、嬉しいです。

――ぜひ頑張って下さい！

（取材／2020年3月）



株式会社 おおきなわ
れいわ堂薬舗
神奈川県横浜市鶴見区豊岡町13-27
URL：https://reiwado-ookinawa.com

GUEST COMMENT

「色んな情報に溢れ、気軽に相談できる薬局や薬店を見つけるのが難しい今の時代、独自の存在感を放つ『れいわ堂薬舗』さんのような薬店は、今後さらに求められるでしょう。川上社長には薬剤師として30年以上歩んでこられた強みを活かして、今後も地域の方々を支えていっていただきたいですね。私も応援しています！」

© 2020 KOKUSAI-TSUSHINSHA Co.,Ltd.